

米原市総合計画後期基本計画(案)に係るパブリックコメントに寄せられた意見と対応

No.	該当箇所	意見の内容	対 応
1	全体	<p>前期基本計画の検証、米原市民に意識調査結果などを分析しながら、後期基本計画策定に向けて、課題や諸問題を浮かび上げさせ、問題点をしぼりながら取り組まれた努力が出ていると思います。</p> <p>人口減少、少子化・高齢化、財政状況の悪化という悪条件を少しでもクリアするために策定された後期基本計画(案)に期待しています。</p> <p>この基本構想、後期基本計画に基づいて、細かな実施計画が立てられて、スピード感を持って実施されることを強く願っています。</p> <p>米原市が抱える莫大な借金とそれらを返済する利息など、いかに早く解決していくのかという大きな課題も残っています。今までの行政の流れや仕組みだけでは、課題解決ができない時期に来ていると思います。</p> <p>行政職員が後期基本計画を念頭に入れて、行政職員一人ひとり自らが米原市のまちづくりにリーダーとして活躍してほしいと思います。</p> <p>市民のアイデアを募集し、職員自らがアイデアの実践家になって、市民をリードしてほしいと思います。</p>	<p>御意見いただきましたように、今後、後期基本計画に基づき実施計画を策定し、『自然きらめき ひと・まち ときめく 交流のまち』の実現を目指し、職員一丸となって取組を進めていきます。また、職員の能力を引き出す人事制度や職員研修の充実を図り、行政課題に対して自ら考え行動できる人材の育成に努めていきます。</p>
2	全体	<p>提言したいと思います。米原市の計画ですが、</p> <p>①都市の賑わいと集客力を創造する都市構成</p> <p>②知的創造都市(creative city)の形成と促進</p> <p>の2つをお願いしたいと思います。</p> <p>cf.北九州大学都市政策研究所</p>	<p>①本市では、前期基本計画より進めている米原駅周辺整備を今後5年間に際しても重点的に取り組み、県東部の玄関口にふさわしい都市機能の充実を図ります。また現在、駅東口周辺では、民間活力を導入した土地利用を図る「事業プロポーザル」の実施準備を進めており、京阪神、中京、北陸を結ぶ交通の要衝である強みを活かして、駅前のにぎわいを創出することに努めます。</p> <p>②創造都市については、いくつかの考えがありますが、文化芸術の振興や技術革新につながる産業などにより、都市の内発的な創造性を引き出し、活力を生み出す都市であると解釈しています。本市では、自然、歴史・文化資源が豊富にあり、これからの米原を担う子どもたちへの教育に力を入れ、また地域において人材育成を進めており、さらには積極的な企業誘致や、米原の魅力を全国に発信し、移住や定住を進める水源の里まじりの取組など、創造都市を形成するうえで必要となる要素を持ち合わせていると考えます。御意見いただきました知的創造都市についても、今後のまちづくりの参考にして、後期基本計画を進めていきたいと考えます。</p>

米原市総合計画後期基本計画(案)に係るパブリックコメントに寄せられた意見と対応

No.	該当箇所	意見の内容	対応
3	1-2	<p>総合計画が自治基本条例の理念に基づき市民・地域・事業所・行政の協働のまちづくり指針である以上、各利害関係者が容易に読め・行動に移すことが出来るものでなければならない。一般市民が「私も参画してやってみよう」という意向を出せるようなものに仕上げたいものです。</p> <p>「私も」と思っても、MGTとかALTとか難解な言葉が出てくると、意欲が削がれたりします。芸術協会とか文化協会とかその権威筋のもとへ相談に行くには恐ろしく、また、何処にあるかわからないという初歩段階の疑問が行動を鈍らせます。気楽に参加していただける雰囲気の記事になりませんか？</p>	<p>御意見いただきました難解な言葉については、後期基本計画の巻末に資料編として用語説明を付けることで対応します。</p> <p>また、市民の取組については、「～しましょう」などの呼びかけよりも、あえてまちづくりに主体的に取り組んでいただくことを目指して「～します」という表現にしています。</p>
4	5-1	<p>後の都市経営のところで、米原市の苦しい行財政運営を指摘されていますが、米原市が何を基軸に歳入の計画をなされるのか？もっとドラスチックな優先順位をつけられても良いのではないかとおもいます。</p> <p>米原市のメインの歳入源は、第二次・第三次産業であり、またその給与所得であります。決して第一産業がメインではありません。商工業の振興を第一に掲げるべきであり、貢献度の低い所に多大のエネルギーを注ぐことは、貢献度大の人々に背くことだと思います。</p>	<p>毎年度の本市の予算は、社会情勢や国県の動向をふまえて、市長が予算編成方針をたて、何に重点をおくのかを示したうえで、作成されます。</p> <p>本市においては、米原駅周辺や米原南工業団地への企業誘致を重点課題にしており、その実現に向けてリーディングエリアのにぎわいづくりや企業立地の推進、企業活動の支援など商工業の振興施策を後期基本計画に位置付け、取組を進めていきます。</p> <p>一方で、平成22年農林業センサスの結果を見ると、市内のおよそ1/6が農家であり、そのうち大多数が兼業農家であることから、第一次産業である農業振興も必要であることも御理解いただきたいと思います。</p>
5	5-4	<p>まちの体力アップ戦略で、定住人口を5年後に4.2万人にしたいとの元気な計画があります。勿論、米原市の潜在能力はあります。しかし、昨今の報道でも、日本の総人口は大幅な減少傾向にあり、相当有利な定住条件を提示しなければ実現出来ません。勿論、米原市から他の市町へ移住する人もあり、差引増加を期待する戦略が必要です。米原市内に定住希望する人、取り分け若い人は「新しい住宅」を希望し、古民家へという人は希です。その結果、古民家の「空き家」が増えて、限界集落問題は依然として解消出来ません。春日井市でも、30万都市である今から、「空き家条例」で、防犯・防災・環境の面から所有者の責務を定める検討をはじめています。</p>	<p>日本が人口減少社会になったことは、後期基本計画の「踏まえるべき動向」の中でも記載しており、厳しい状況ですが、本市では新まちの体力アップ戦略2「水源の里まいばらの定住促進、都市との交流」で、米原の魅力を全国に向けて発信し、定住促進を図ります。</p> <p>また空き家に対する取組は、本市においても主に市北部の中山間地で進めていますが、市街地おける空き家対策についても、御意見いただきました内容を担当部局に伝え、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>